

証券コード 3993  
2024年12月23日

株主各位

東京都文京区本郷二丁目35番10号  
本郷瀬川ビル4F  
株式会社PKSHA Technology  
代表取締役 上野山勝也

## 第12期定時株主総会決議ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、2024年12月20日開催の当社第12期定時株主総会において、下記のとおり報告及び決議されましたので、ご通知申し上げます。

敬具  
記

- 報告事項
- 第12期(2023年10月1日から2024年9月30日まで)事業報告の内容、連結計算書類の内容並びに会計監査人及び監査等委員会の連結計算書類監査結果報告の件
  - 第12期(2023年10月1日から2024年9月30日まで)計算書類の内容報告の件

本件は、それぞれの内容及び監査結果を報告いたしました。

### 決議事項

- 第1号議案 監査等委員でない取締役3名選任の件  
本件は、原案どおり承認可決され、監査等委員でない取締役として、上野山勝也氏、水谷健彦氏、吉田行宏氏が選任され、それぞれ就任いたしました。なお、水谷健彦氏、吉田行宏氏の両氏は社外取締役であります。

- 第2号議案 監査等委員である取締役3名選任の件  
本件は、原案どおり承認可決され、監査等委員である取締役として、藤岡大祐氏、下村将之氏、佐藤裕介氏が選任され、それぞれ就任いたしました。なお、藤岡大祐氏、下村将之氏、佐藤裕介氏の各氏は社外取締役であります。

以上

(参考)

第12期定時株主総会 質疑応答要旨（質問数：9件）

質問	株主還元についての考えを知りたい。
回答者	議長
回答	AIの市場は足元で拡大・拡張している。引き続き、投資を加速させながら企業価値を向上させることによって、株主様の利益を最大化していく。

質問	事業の進捗について、以前、登山の例えで二合目あるいは三合目付近であると回答いただいたが、現時点で何合目まで到達したか。
回答者	議長
回答	事業は大きく進捗している。同時に、実インパクトを出せる領域も拡大していることから、二合目、三合目という感覚に変化はなく、山の見え方に変化を感じている。

質問	株主還元について、自社株買いや配当に使わず、利益成長の原資として活用いただき、企業価値を飛躍的に高めて欲しい。
回答者	議長
回答	経営陣一同、企業価値を高め、もう1段2段、社会に本質的な価値を創造する会社になることをを目指している。引き続き、応援いただきたい。

質問	特許の取得状況や公表に対して、考え方を教えて欲しい。
回答者	議長
回答	特許は一部取得しているが、特許の取得によって競争に勝てる訳ではないため、事業成長や競争力に繋がる要素へ重点的にリソースを投入したい。

質問	当社は優秀な人材が集まっていると考えるが、その実情を知りたい。
回答者	議長
回答	AIエンジニアは、優秀なAIエンジニアと働きたいという特性があると考えている。国内では、当社はその選択肢として認知されている実感がある。

質問	株主総会が平日開催であると参加しづらいので、配慮して欲しい。
回答者	議長
回答	休日に参加されやすい方がいらっしゃると同時に、平日に参加されやすい方もいらっしゃるため、検討したい。

質問	配当について、具体的に会社がどのような状態であれば還元されるか。
回答者	議長
回答	恐縮ながら配当を出すタイミングは明言できかねる。考え方を説明すると、中長期の投資と短期のキャッシュフローのバランスを考慮している。そのうえで、株主様への価値還元が最大化できるような意思決定をしている。

質問	株主総会の運営について、議案の内容がウェブサイト参照とされているため判りづらい。やり方を考えて欲しい。
回答者	議長
回答	運営は継続的に改善していく。水谷取締役、吉田取締役は組織や人材の成長支援、経営能力において確かな実績があるため、引き続き選任をいただきたい。

質問	社外取締役から当社の将来性を説明して欲しい。
回答者	水谷取締役
回答	当社は日本において、AI領域の中心に位置している会社である。今後、市場は想像ができない程の拡大が期待できる。将来、社会の生活様式は激変していると思われるが、当社はそのテクノロジーの中核となっていると考える。